

京都 貴重な帯が・・・ - 西日本防災システム

2013 06 17

6月17日午後3時半頃、京都市上京区南佐竹町の銭湯「玉乃湯」付近で、「煙が出ている」と近隣住民から119番があったそうです。京都府警上京署や市消防局によりますと、木造2階建ての銭湯が半焼し約210㎡が焼損したほか、木造2階建ての倉庫約120㎡が全焼、さらに老舗の帯製造卸販売会社「井関」の鉄筋コンクリート4階の社屋のうち2、3階部分約280㎡が焼けるなど計7棟が焼損しました。火災によるけが人などはなかったようです。同署で出火原因を調べているそうです。

延焼した「井関」は、天文19(1550)年創業で、京都で最も古い歴史を持つとされる西陣織の帯製造卸販売会社だそうです。同社の関係者のお話によりますと、社屋内には西陣織の貴重な帯などが多数保管されており、「帯は煙を吸っただけでも商品としての価値がなくなってしまう。全滅かもしれない。甚大な被害です」と、沈痛な表情で話していたそうです。

火災は恐ろしいです。何もかも全てを奪い去ってゆきます。 貴重な品々が失われてしまった可能性はありますが、どなたも傷ついたかたがいらっしゃらなかった事を思い、前に進んでください。



映像はインターネットより



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 